



春の野花はとても可愛いですね。フデリンドウもとても可愛い。まだまだすぐ身近にあるのに知らないことばかり。楽しいですね。上を向いて歩こう～とよくいうけど、たまには下を向いて足元にある可憐な野花を見つけて楽しもうと思うこの春です。

ふでりんどう

フデリンドウ (筆竜胆)

- ・茎の高さは5-10cmくらい
- ・花期は、4月中旬-ゴールデンウィーク
- ・花の形はリンドウとよく似る

小さいけれど、はつと青い花。雨や曇りの日に閉じているつぼみは、まるで「筆」のようなので、フデリンドウという名前です。

とびこしているフデリンドウ



曇り日は閉じて筆の形になるよ



スプリングフェメラル種の背丈布が終ると株が木になってしまいます。そのため春のはかない命のいう意味のスプリングフェメラルといわれます。

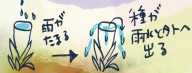


花があまり実になつていき



うき さいふ 雨漬背丈布

フデリンドウは花が終ると実になると、雨の日に花が開き、溜った雨水が種と一緒に溢れ出ることで、種を背丈布します。



小さくてもいろいろ工夫でたのしいよ



神垣 健司 (かみがきけんじ) 自然観察会などで講師を担当する。呉の自然にとってもくわしい。いつも面白い自然の話を教えてくれる。



片山りを (イラスト担当) 趣味は散歩。特に自然を観察しながら歩くのが好きです。食べれる実やかわいいキノコが特に好きです。

いままでのイラスト図鑑はコチラから▶

